

或母の日記

無名氏

明治三十三年九月三十日出生の女

父 小學教育に従事す。

母 専ら家政に當る。

其他の家族 親子三人の外なし。

女と兩親との續柄 長女

父母の年齢 共に成年以上。

父母の體質 父は稍弱く母は通常なり。

妊娠中の概況 家内平穩にして、母の身心に於て

亦異常なし。受胎五六ヶ月にして胎兒の運動活

潑なるを覺ゆ、これを以て醫師産婆の鑑定には、

男兒なりと云ふ。

出生の當時 母の實家に於てす、祖父母に於て

の初孫にして珍重せらるゝと限なし。この間の

觀察充分ならず。

胎兒の特徴 母の乳汁充分なるを以て全身肥滿營

養佳良恰も男兒の如し。

生後四十四五日目に於て燈明を見付けたり、五

十一日目に母の實家より歸るの途、風にさらされ

顔の皮稍剥げたり、六十餘日にして乳貰ひの兒よ

り眼病を傳染し、めやにを出し折々泣く。一週間

にして愈ゆ八十四日目より（これ迄は横臥又は脊

負ふ）朝つぐらに入れ夕方出す、母は傍にありて

裁縫をなす。つぐらにあり至て静かなりしが凡そ

六十日に於て之を厭ひ這入ることを好まず、より

て又横臥せしめ時に脊負ふ此頃より獨にて置くと

きは乍ら泣き傍に連れ添ひあるときは静なり。

九十日餘にして夜乳房を尋ね付けて乳を呑む此

頃より眼を左右に轉じて人の顔を見送る。生後百

日目の體量一貫二百二十目。

百四五日目にして呼び聲に應じて、眼或は頭を左右にめぐらして之を見付けたり。

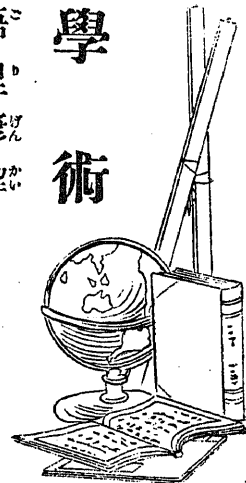
記者白す、この一篇、越後邊りのある讀者より懸々贈りこられたるものなり。申し出によりて、懸と寄福者たる母君の名を香けり。尙この子どもの成長につれて觀察せる所を續々本誌に投ぜらるゝことを約せり。吾人はこの可憐なる幼子の、將來ますます健全に幸福ならんことを祈る。



學 術

英語俚諺解

擊 水 生



One home (Continued)

家庭に關するもの (前號の續)

A bad husband can not be a good man.

夫として悪しき者は、人として善良なる能はず。

A bad wife likes her husband's heel to be towards home.

wards home.

悪しき妻は、其夫の踵が、家庭に向いてゐること

を好む。